

組込み適塾実践演習コース

「実践的モデル検査」

1. 「組込み適塾」実践演習編の目的
「組込み適塾」の修了生を主な対象者とし、実際のプログラムなどを活用した実践演習を行うことで、「組込み適塾」で修得したシステムアーキテクトとして必要な知識の習熟度を高める。
2. コース概要
曖昧さを含まないようにソフトウェアの仕様や設計を記述し、厳密に検証を行う手法であるモデル検査を演習を通して学び、適用の際の技術を習得する。
実際にシステムの仕様書や設計書にモデル検査を適用する演習を通して、モデル検査の適用プロセスの実際面を学び、仕様の不整合や抜けを発見するための技能を身につける。
モデル検査器として Spin を利用する。
3. 受講要件
 - ・組込み適塾の受講或いは相当する技術と経験を有していること。
 - ・モデル検査の適用に関心があること。
 - ・与えられたモデルと検査式を Spin を使って検査できること。
4. 期待される成果
 - ・適切に仕様を切り分け、或いは抽象化してモデル検査を適用できる技能の修得
 - ・曖昧さや不整合を含まないように仕様を記述し、設計する技能の習得
5. 担当講師 産業技術総合研究所 組込みシステム技術連携研究体 外来研究員
大阪学院大学 情報学部 情報学科 講師 関澤 俊弦
6. 開催日時 9月1日(水)、2日(木)、3日(金)
講義時間:9:30~17:30
7. 開催場所 産業技術総合研究所 関西センター
〒563-8577 大阪府池田市緑丘 1-8-31
8. 募集人数 15名
9. 受講料 組込みシステム産業振興機構 会員 50,000円
一般 70,000円
10. 申込方法 組込みシステム産業振興機構 組込み適塾事務局まで、所定の申込書とアンケートをご記入の上、FAX:072-751-8806 または、
E-mail: esip_info@kansai-kumikomi.net まで送付願います。
11. 申込締切 8月20日(金)